

国際児童年に望む

「たくましい身体と心を」

東桂中学校長

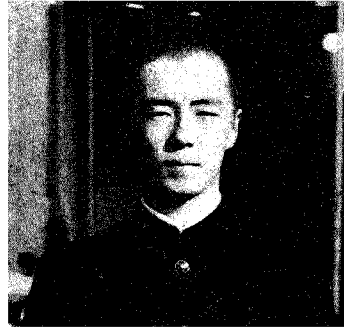
小俣 嘉助

今、世界中が子どものたしかな成長を願っています。そしてその願いを世界のみんなで盛り上げるために「国際児童年」が設けられています。

文明、文化の進歩は人間生活を便利にし豊かなものにしていきますが、一面、人間の心身に及ぼす影響も多く見られます。情緒障害児、登校拒否児、自閉症児、近視やムシ歯の増加、骨折の多発、筋力の低下、疲労度の増大、耐性の欠如さらに非行の低年齢化、少年自殺等々、今日の子どもの身体と心にかかわる問題は深刻なものがあります。

過日、私は本校の父母に「どんな子どもに育ってほしいか」という意味の調査をお願いしたことがあります。その中で大部分の方が「健康な子どもに育ってほしい。」と答えております。「世界保健憲章」の中で「健康」とは、身体的にも精神的にもまた社会的にも完全に良好な状態……と考えられています。また日本では、昔から「健康な身体に健康な精神が宿る」といわれ、その中に人間としての条件をも意味しているように思われます。

人間の素地をつくる発育発達期の盛んな子どもの時代にこそ、これらの「健康観」をもっとそばに引きよせ、たくましい身体と人間らしい心をもった子どもに育てていきたいと思えます。



国際児童年について

東桂中生徒会長

五味 周一

今年で国際児童憲章が制定されて二十周年を迎えました。私たち子供のために、各国がいろいろな行事を実施しています。私たちの身近には、目立った行事はありませんが、テレビのニュースなどで国際児童年の行事を実施していることが知られます。その時の子供たちは、とっても楽しそうに幸せそうに見えます。国際児童年というのですから、他国との国境をなくして、世界中のすべての子供が仲良くなれることができれば素晴らしいものではないでしょうか。私たちが他国の子供たちと仲良くできれば、いろいろな国のことにも興味をもつし、「一人ぼっちではない」「世界のどこにでも友だちがいる」という自信をもつことができます。このことが生涯実現する限り、世界は平和で最高にうれしいと思えます。国際児童年は子供たちが楽しむだけではないと思います。大人たちが実施してくれる行事をむだにしないように、またこの言葉にはじまないように、私たちもしっかりと生きて行かなくてはいいと思います。

発明のまち都留市

ふるさとづくり 県民運動

第1回

市民手づくり 発明工夫展

産業の発展を一層身近なものにし、ふるさとづくりを進める意味合いから、つぎにより第一回市民手づくり発明工夫展を開催することになりました。

- 一、目的 発明を通じ、ふるさとづくり人づくりを推進する。
- 一、課題 自由
- 一、資格 都留市民
- 一、搬入先 都留市役所産業課
- 一、搬入日 10月30日～31日
- 一、表彰 20名に市長賞、出品者に参加賞
- 一、審査 市長、議長等
- 一、展覧日時 11月3日～7日
午前9時～午後4時
- 一、展覧会場 都留市役所

あなたも発明家に

いつでも発明講習会講師を派遣します。
市では、11月3日から7日まで第一回市民手づくり発明工夫展を開催し、発明によって新しいまちづくり人づくりを推進することになりました。
この発明講習会を受講され、ご

自身が発明家となり、手づくりで発明品を完成させ、それを展覧会に出品してみませんか？
つくる楽しさ、工夫する楽しさ完成させる楽しさをたっぷり味わってください。

発明は、だれでもその気になりさえすれば、すぐできるもので、決してむずかしいものではありません。

他を思いやるやさしい愛の気持ちと、現在使われているものの欠点短所を探求できれば(欠点を探求できればその発明は60パーセント解決といわれます。)あとはその欠点に対し定石として、発明の仕方、方法を適合させるだけでよいわけで、決してむずかしいものではありません。

要は発明の仕方、方法のコツを覚えるだけでよいのです。

また、日常の身の回りにあるものを活用してゆく大切さをお互いに考え、小さな発明、工夫を心がけてゆこうとするものです。

講習会では、このほか発明とはどんなものか、発明の効果、発明の楽しさ、発明と人づくりなどについて皆さんとともに勉強しようとするものです。

どうぞ遠慮なく皆さんの自治会やグループ単位で申し込みください。講師を派遣します。

あなたも発明家となって、第一回手づくり発明工夫展に出品して新しいまちづくり人づくりに参加してみましよう。